

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-253222
 (43)Date of publication of application : 09.09.1994

(51)Int.CI. H04N 5/44

H04N 7/18

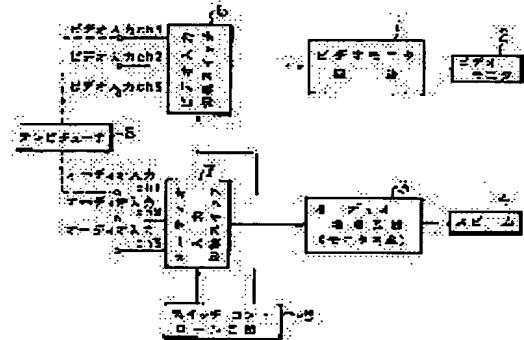
(21)Application number : 05-056460 (71)Applicant : SONY CORP
 (22)Date of filing : 22.02.1993 (72)Inventor : ARAI HIDEKI

(54) TELEVISION MONITOR

(57)Abstract:

PURPOSE: To provide a television monitor in which a video input and an audio input are optionally switched by providing plural video inputs and plural audio inputs to the monitor.

CONSTITUTION: The television monitor provided with an audio amplifier circuit 3 driving a speaker 4 and a television tuner 8 is provided with a video input changeover switch 6 and an audio input changeover switch 7 by which plural video inputs ch1-ch3 and plural audio inputs ch1-ch3 are selected independently through the selection of the user. The switching of the changeover switches 6, 7 is controlled through a switch control circuit 5 by the selection of the user. Thus, it is possible that the video of television relay broadcast is observed by selecting the video input ch1 and a CD is reproduced and music is listened to by selecting the audio input ch2.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 01.02.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 10.05.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-253222

(43)公開日 平成6年(1994)9月9日

(51)Int.Cl.⁵
H 04 N 5/44
7/18

識別記号 H
府内整理番号 D

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数3 FD (全4頁)

(21)出願番号 特願平5-56460

(22)出願日 平成5年(1993)2月22日

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 新井 秀喜

東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニ

ー株式会社内

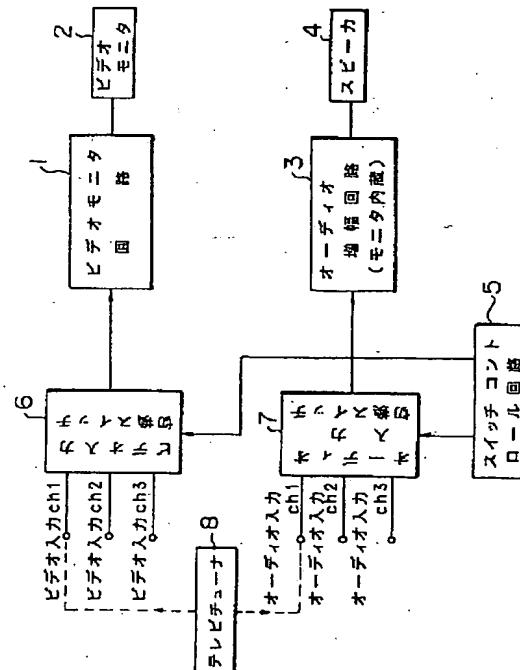
(74)代理人 弁理士 渋谷 孝

(54)【発明の名称】 テレビモニタ

(57)【要約】

【目的】 複数のビデオ入力及び複数のオーディオ入力を備え、ビデオ及びオーディオ入力を任意に切り換える機能としたテレビモニタを提供する。

【構成】 スピーカ4を駆動するオーディオ増幅回路3及びテレビチューナ8を備えるテレビモニタにおいて、このテレビモニタは複数のビデオ入力ch1～ch3及び複数のオーディオ入力ch1～ch3をユーザーの選択によりビデオ及びオーディオ入力を独立して切り換える制御可能にしたビデオ入力切換スイッチ6とオーディオ入力切換スイッチ7を備える。切換スイッチ6及び7は、ユーザーの選択によりスイッチコントロール回路5を通して切り替えが制御される。これによりテレビ中継の映像をビデオ入力ch1を選択して映像を見ながら、オーディオ入力ch2を選択してCDを再生して音楽を聴くことができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】スピーカを駆動するオーディオ増幅回路を内蔵したテレビモニタにおいて、複数のビデオ入力を切り換えるビデオ入力切換スイッチと、複数のオーディオ入力を切り換えるオーディオ入力切換スイッチと、前記ビデオ入力及びオーディオ入力を独立して切り換える制御信号を前記ビデオ入力切換スイッチ及び前記オーディオ入力切換スイッチに供給するスイッチコントロール回路とを備えることを特徴とするテレビモニタ。

【請求項2】スピーカを駆動するオーディオ増幅回路及びテレビチューナを内蔵したテレビモニタにおいて、複数のビデオ入力を切り換えるビデオ入力切換スイッチと、複数のオーディオ入力を切り換えるオーディオ入力切換スイッチと、前記ビデオ入力及びオーディオ入力を独立して切り換える制御信号を前記ビデオ入力切換スイッチ及び前記オーディオ入力切換スイッチに供給するスイッチコントロール回路とを備えることを特徴とするテレビモニタ。

【請求項3】前記ビデオ入力切換スイッチ及びオーディオ入力切換スイッチを連動または独立して切り換えることを特徴とする請求項1または請求項2記載のテレビモニタ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、複数のビデオ入力及び複数のオーディオ入力を備え、ビデオ及びオーディオ入力を任意に切り替え可能にしたテレビモニタに関する。

【0002】

【従来の技術】現在、コンパクトディスク（以下、CDという。）からレーザディスク（以下、LDという。）まで複数のディスクを再生できる、いわゆるマルチディスクプレーヤー（以下、MDPという。）が普及している。そして、CD、LDをモニタする再生信号の入力部を備えるとともに、通常のテレビ放送を受信するチューナー、オーディオアンプを内蔵したテレビモニタをセットにした装置が市販されている。

【0003】このような装置を使用して、ユーザーは、LDの再生、CDの再生、通常のテレビ放送を受信するという種々のモードが可能になっている。ところで、前記テレビモニタは、通常複数のビデオ入力、オーディオ入力が可能であり、そのためのビデオ入力・オーディオ入力選択スイッチ及びスイッチコントロール回路を備えている。しかし、これらの選択スイッチは、ビデオ入力とオーディオ入力のスイッチがチャンネル毎に連動して切り換えられるようになっている。

【0004】例えば、3チャンネルの入力が可能なテレビモニタを例にとって説明する。図1において、このテレビモニタは、ドライブ回路等のビデオモニタ回路1と表示用ブラウン管等のビデオモニタ2を備えるとともに、オーディオ増幅回路3を内蔵しており、スピーカ4

は内蔵または別個に接続されている。さらに、3チャンネルのビデオ入力を構成するビデオ入力ch1、ビデオ入力ch2及びビデオ入力3chと、これらビデオ入力を連動して選択されるオーディオ入力ch1、オーディオ入力ch2及びオーディオ入力ch3が付属している。

【0005】これらのビデオ入力ch及びオーディオ入力chは、ユーザーがリモコン等で選択スイッチを選択することにより、スイッチコントロール回路5は、前記選択されたチャンネルに基づいて、ビデオ入力切換スイッチ6及びオーディオ入力切換スイッチ7に、前記スイッチコントロール回路5から同一の信号が供給されて、ビデオ入力切換スイッチ6及びオーディオ入力切換スイッチ7を連動して選択するように制御される。すなわち、ビデオ入力ch1を選択すれば自動的にオーディオ入力ch1のチャンネルを自動的に連動して選択するよう切り換えられる。

【0006】したがって、このような選択スイッチを備えるテレビモニタの場合、ビデオ入力ch1を選択するとオーディオ入力ch1も連動して選択され、このチャンネルを使用してLDを再生すると、このLDに記録されている映像及び音声がテレビモニタでモニタされることになる。

【0007】さらに、このようなセットでMDPまたはCD専用のプレーヤーでCDを再生する場合は、例えば、オーディオ入力ch2を通してCDを再生する場合は、テレビモニタのオーディオ増幅回路3を介してスピーカ4で音声が再生される。このとき、通常はビデオモニタ2の画面には、緑またはブラックの色のみが再生されるように工夫されている。

【0008】さらに、テレビチューナ8も内蔵されているテレビモニタを使用して通常のテレビ放送を受信する場合は、ユーザーが選択スイッチを操作することにより、例えばビデオ入力ch3及びオーディオ入力ch3が選択されて通常のテレビ放送を受信することができる。

【0009】上述のように、従来のマルチ入力テレビモニタで映像及び音声を再生する場合、ビデオ及びオーディオ入力の選択は連動しているために、このようなテレビモニタにCDプレーヤー等のオーディオ機器を接続して再生する場合、ビデオモニタ2は何ら寄与することなく大旨無駄になってしまふ。

【0010】また、通常のテレビ放送を受信して、例えばマラソン中継などを見る際、映像は必要でも中継音声は必要としないユーザーも少なからず存在し、このような場合音声をミュートするかボリュームを絞ることも行われるが、マラソン中継の画像を見ながら中継音声を断って他の音声例えばCDを再生して音楽を聴こうとしても、前記ビデオとオーディオが連動するスイッチングの仕様ではユーザーにそのような自由は利かない。

【0011】

【発明が解決しようとする課題】本発明は、前記問題点に鑑みなされたもので、ビデオ入力チャンネルとオーディオ入力チャンネルを独立に選択して映像、音声をモニタできるようにしたテレビモニタを提供する点にある。

【0012】

【課題を解決するための手段】本発明は、スピーカを駆動するオーディオ増幅回路及びテレビチューナを内蔵したテレビモニタにおいて、複数のビデオ入力を切り換えるビデオ入力切換スイッチと、複数のオーディオ入力を切り換えるオーディオ入力切換スイッチと、前記ビデオ入力及びオーディオ入力を独立または連動して切り換える制御信号を前記ビデオ入力切換スイッチ及び前記オーディオ入力切換スイッチに供給するスイッチコントロール回路とを備えることを特徴とし、ユーザが任意のビデオまたはオーディオソースを選択してモニタすることができる。

【0013】

【実施例】図1は、本発明のビデオ入力ch及びオーディオ入力chをユーザが任意に選択できるテレビモニタの説明に供するブロック図を示している。本発明は、図1において、スイッチコントロール回路5でユーザの選択によりビデオ入力切換スイッチ6とオーディオ入力切換スイッチ7を独立に切り換えるように制御する。切り換えを独立に制御することによりビデオ入力chとオーディオ入力chの組み合わせを任意に選択することが可能となる。

【0014】ビデオ入力及びオーディオ入力を独立に選択する場合は、ビデオ入力切換スイッチ6及びオーディオ入力切換スイッチ7に別個の制御信号をスイッチコントロール回路5から供給して、任意のビデオ入力chまたはオーディオ入力chを選択できるように設定すれば良い。

【0015】ユーザが入力を選択する多くの場合は、従来と同様ビデオ入力chとオーディオ入力chの組み合わせは決まっているので、両スイッチ6及び7を連動または独立に制御できるように前記スイッチコントロール回路5で制御するのが好適である。

【0016】前記入力のビデオ及びオーディオのソースとして、MDP再生信号、CDプレーヤ再生信号、テレビ放送で説明したが、他のソース、例えばVTRで再生される信号を入力できることは、ユーザの選択により自由に設定できることは言うまでもない。

【0017】

【発明の効果】本発明は、複数のビデオ入力及びオーディオ入力を備えるテレビモニタのソース切換スイッチの連動を解除して独立にソースの選択ができるようにしたから、ユーザは、ビデオ入力及びオーディオ入力を自由に選択することが可能となる。例えば、マルチディスクプレーヤーでコンパクトディスク(CD)を再生して音楽を聴く場合、ビデオ入力に好みの映像を割り込ませて鑑賞することができ、ビデオモニタが無駄になることがなくなり、ユーザのソースへの選択幅が広がることになる。

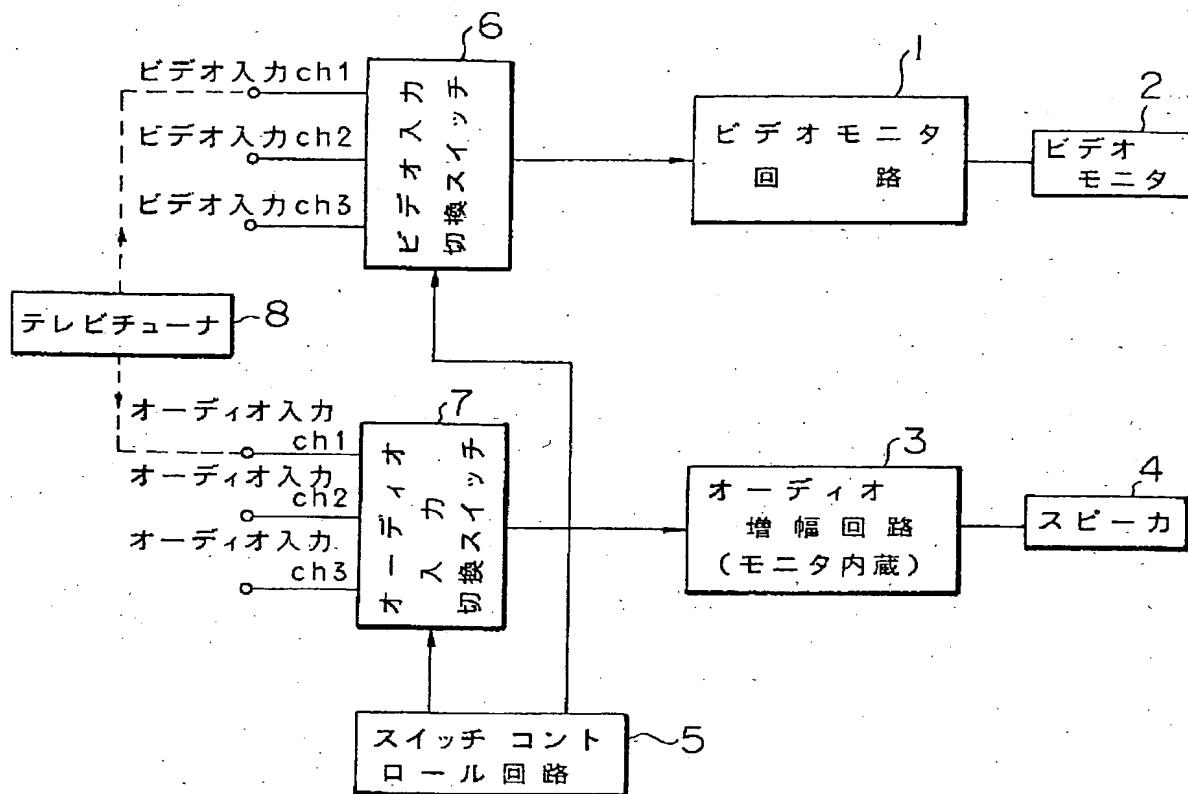
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明実施例の説明に供するブロック図である。

【符号の説明】

- 1 ビデオモニタ回路
- 2 ビデオモニタ
- 3 オーディオ増幅回路
- 4 スピーカ
- 5 スイッチコントロール回路
- 6 ビデオ入力切換スイッチ
- 7 オーディオ入力切換スイッチ
- 8 テレビチューナ

【図1】



RECEIVED
整理番号:2130020081
AUG.31.2004
S. YAMAMOTO

発送番号:320775 発送日:平成16年 8月31日

1 due date

拒絶理由通知書
Office Action

10/30(火)→11/1(水)

特許出願の番号	特願2000-191935
起案日	平成16年 8月27日
特許庁審査官	酒井 朋広 8935 5C00
特許出願人代理人	山本 秀策 様
適用条文	第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理由

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記

- ・請求項 1-9
- ・引用文献 1, 2
- ・備考

引用文献1には、異なる音量レベルの信号に切り替えた時にミュート動作を行うことが記載されている。

また、切り替える音声信号が記録媒体に記録されたものと限定することは、例えば引用文献2に記載されているように格別なことではない。

引用文献等一覧

1. 特開平11-298807号公報
2. 特開平6-253222号公報

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

・調査した分野 (IPC第7版)

H 04N 5/76-5/956

H 04R 3/00

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

特許審査第四部 映像機器 酒井 朋広

TEL. 03 (3581) 1101 内線3541

FAX. 03 (3501) 0715